



2023年12月15日

# たてくるジオパーク

## だより 第64号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/



https://facebook.com/tatekuro

### ☆ 令和5年度立山黒部ジオパークシンポジウム開催

12月9日、美しい立山連峰が展望できる晴天の日、令和5年度立山黒部ジオパークシンポジウムを環境省請負事業として「今、北アルプスのジオツアーが面白い！」のテーマのもと、富山市のキラリホールで開催しました。約100名の会員や一般の方々にご参加くださいました。はじめに、当協会大橋 聡司会長代行の開会挨拶のあと、立山黒部ジオパーク支援自治体会議を代表して武隈 義一黒部市長からご挨拶をいただきました。次に、立山ガイド協会の大塚 憲一氏と

令和5年度 立山黒部ジオパークシンポジウム



松田 好弘氏に基調講演をいただきました。大塚氏は、大学で雪氷学を専攻したことがきっかけで、立山でガイド活動を始め、旅行会社トラバースを設立されました。「雪の大谷が語る水と氷の物語」と題し、現在実施されているテーマ型募集ツアー等をバーチャルで紹介していただきました。そして、ツアーを通してメッセージを届けられることが、

参加者が楽しんでくれる喜びを語っていただきました。松田氏は、「氷河を巡る日本唯一の山岳ジオツアー」と題し、①山岳ジオツアーとは、ジオサイトに行くための登山であること。②問題点は、体力、天候、安全、雪の状況であること。③良いところは、山の地質、地形がわかると登山がもっと楽しくなることを語っていただきました。また、氷河ジオツアーのモデルコースとして、内蔵助氷河・御前沢氷河を巡る1泊2日コースを紹介され、氷河ジオツアーの面白さ、特に雪面上では見られない水路やムーラン（氷河の内部に見られる管状の穴）を紹介されました。シンポジウム後半は、パネリストとして、環境省立山管理事務所管理官の中森 健太氏、公益財団法人日本山岳ガイド協会理事長の武川 俊二氏、株式会社西遊旅行営業部の島田 稜氏と基調講演をいただいた大塚氏と松田氏の5名の方々が、当協会の川端 志穂コーディネーターの進行でパネルディスカッションを行いました。武川氏は、日本山岳ガイド理事長としての経験から、糸魚川、海谷溪谷や富士山、上高地を立山・劔や黒部峡谷と対比しながらその素晴らしさを語り、島田氏は、アイスランドでの極地ジオツアーや台湾での高所ジオツアーの経験を踏まえ、富山空港発着の6人



乗り小型飛行機で立山黒部ジオパークを地上3500mから展望するツアーを実施して、立山・劔の魅力が高まっていることを語られました。大塚氏と松田氏は、基調講演で語り切れなかった立山・劔の魅力を紹介し、中森氏は、環境省が今まで自然保護一辺倒だった政策から転換したとことを述べ、日本の国立公園が世界中から憧れられる旅の目的地になるため立山の国立公園管理官として、「保護と利用の好循環（両立）の実現」を目指していると述べられました。5名のパネリストがそれぞれの立場から立山黒部ジオパークの魅力と今後のあり方を語り、パネルディスカッションを終えました。参加者の皆様からは、



「とても良かった」「もっと時間がほしかった」等の感想をいただきました。

ありがとうございました。



### 立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 11/11 ジオパーク散歩 in 名勝園家砂丘

11月11日に「ジオパーク散歩 in 名勝園家砂丘」を行いました。当日は、海岸沿いということもあり、風が強く肌寒い天気でした。一行は、園家山キャンプ場駐車場に集合し、下新川海岸、園家湧水、地下水の水位標柱、一等三角点本点を見学しました。

園家山は、急流の黒部川によってできた砂丘で、県内随一を誇ります。また、地下数十メートルから湧き出るこの水は、「ほりぬきの水」と呼ばれています。高台には、国土地理院の一等三角点がありました。三角点とは、山の頂上や見晴らしの良いところに設置され、経度、緯度、標高が正確に求められています。地図の作成にはもちろんのこと、道路建設など公共事業を行う際にもなくてはならないものです。富山県内の本点は、園家山、蔵王山、金剛堂山にも設置されているそうです。



## 11/22 ジオパーク散歩 in 猪谷

11月22日に「ジオパーク散歩 in 猪谷」を行いました。初は、風が強く、寒さを感じましたが、時間が経つにつれ、暖かくなっていきました。天気は快晴であったため、紅葉も映えていました。

参加者の方に、このジオパーク散歩で期待していることを伺うと、「紅葉を楽しみにしている」や「街道の西道を別のツアーで参加したので、東道も見たくて参加した」などのご意見をいただきました。

一行は、猪谷駅に集合した後、猪谷駅の歴史を学び、神峡橋、素戔鳴社（すさのおしゃ）、三夜様、東猪谷関所などを見学しました。

参加者からは、「さまざまな野仏を見ることができて良かった」や「猪谷の奥深さを感じた」「車で通るだけであったが、今度また来たい」などの感想をいただきました。



## 11/22 ジオパーク散歩 in 立山信仰の里 芦峯寺

11月22日に「ジオパーク散歩 in 芦峯寺」を行いました。9:30 開始で芦峯寺雄山神社、教算坊、閻魔堂、布橋、姥堂跡と立山信仰の足取りを探索しました。雄山神社には祈願殿の他、開山堂、大宮、若宮等の建物がありそれぞれの由緒について学び、教算坊では立山曼荼羅の説明や紅葉真っ盛りの庭を堪能しました。それから布橋灌頂会の儀式的中心となっている閻魔堂では閻魔大王やその両脇に安置されているうば尊像（おんば様）に心を引き締め、煩惱の108枚の敷板を踏みしめながら冬支度の青い布橋を渡りました。姥堂跡では布橋六地藏摩崖仏や当時を偲ぶ石碑等の説明を受け、いまだに新たに発見されている石碑もあるとのことを知りました。沢山の見どころがあり予定の立山大橋までは行けませんでした。改めて立山信仰の奥深さを感じました。



## 12/3 初冬のジオパーク散歩

12月3日に「初冬のジオパーク散歩」を行いました。当日は、師走を感じさせる厳しい寒さで、雨が降ったりやんだりを繰り返す天気でした。一行は、富山市役所に集合し、展望塔を見学しました。頂上の展望フロアで、ガイドの解説を受けながら、富山市の地形や歴史について学びました。残念ながら、あいにくの天気で、美しい山々の景色を見ることができませんでした。その後、いたち川沿いを進みました。途中、向川原町福壽不動尊や、石倉町延命地藏尊で湧き水の飲み比べを行いました。薬都富山の伝統を受け継ぐ薬の老舗の池田屋安兵衛商店の見学などを行いながら、富山市ガラス美術館など



がある西町で解散しました。ちなみに、この日は雨模様の天気ではありましたが、多くの方が湧き水を汲みに来ていました。春には、桜で満開となるいたち川沿いですが、今は、真っ赤に色づいた木々をみることができます。道路沿いにも、多くの落ち葉があり、本格的な冬のシーズンの訪れを感じました。



## 11/3 立少フェスティバル～芦峯寺オープンデー～



11月3日、4日と国立立山青少年自然の家で、立少フェスティバル～芦峯寺オープンデー～が開かれました。その立少フェスティバルの初日に、立山青少年自然の家からの要請もあり、立山黒部ジオパーク協会からブースを出展しました。内容は、立山黒部ジオパーククイズと石釣りゲームです。クイズ全問正解者や制限時間内に5個釣るという石釣りのタスクをクリアした方には、立山黒部ジオパークの缶バッジをプレゼントしました。天候に恵まれ、紅葉も素敵な時期だったので、たくさんの方が参加してくださいました。



## 11/11,12 下立地区 一般客向けツアー

立山黒部ジオパーク協会は黒部市から下立地区ジオサイト保護・活用事業を委託されています。事業の一つとして、下立の大理石や霊水等を巡る一般客向けツアーを開催しました。11月11日は法人会員の株式会社すがの印刷の方々、12日は同じく法人会員の株式会社オーアイ工業の方々と一般の方それぞれ5名が参加してくださいました。ジオガイドの解説を聞き、下立地区の自然や文化について理解を深めるとともに、近くにとっても素敵な所があることに驚いておられました。



## 11/18 なめりかわジオパーク！親子体験ツアー



11月18日、滑川市教育委員会主催の「なめりかわのジオパーク！親子体験ツアー」が開催され、立山黒部ジオパーク協会から専門員が講師として参加しました。最初に瀬羽町の堤防や防波ブロックを見学し、寄り周り波が冬の富山湾で発生する理由を学びました。次に早月川河口を見学し、海岸が砂浜ではなく、大きな岩石が多いことから、早月川が日本屈指の急流であることを学びました。次に、椎名道三翁顕彰碑公園では、江戸時代に活躍した滑川出身の偉人椎名道三が稲の不作に苦しむ農民を助けたいと多くの農業用水を作り、加賀藩（現在の富山県と石川県）で1200haもの水田を開発したことを学びました。最後に、リンゴ農園で、リンゴの摘み取り体験を行いました。リンゴ農園の方からは、リンゴを傷つけずに摘み取る方法とおいしいリンゴの選び方を教えていただきました。

## 11/27 富山地方鉄道「車内科学館号」出発式



富山地方鉄道株式会社と立山黒部ジオパーク協会の協同事業として、「車内科学館号」を運行しています。この電車は、日本ジオパーク認定10周年を迎えることを記念して実施したものです。立山黒部ジオパークのマークをあしらったヘッドマークをつけ、車内には、立山黒部のジオサイトやジオパークを説明する中吊りやポスターが貼ってあります。運行初日となる11月27日には、出発式を行いました。また、12月2日、10日には、10時50分電鉄富山駅発立山駅行の電車に「ジオガイド」が乗車し、沿線のジオパークに関する解説を行いました。



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 宮崎城跡 北陸道の要所を抑えた防塞

ー 戦国時代の歴史の名残を残すー

(朝日エリア)



宮崎城跡は、朝日町にある県内で最も古い山城の一つで、富山県史跡に指定されています。平安時代の末に作られた山城で、越後国と越中国の国境近くにあり、東は親不知、西には黒部川扇状地を眺めることができます。標高 249mの城山山頂にあり、平安時代末から前田氏が新川郡を領有し、境関所を設けるまでの約 400 年間にわたり越後国からの侵入を監視・防御の役割をもちました。戦国時代になり新川郡が上杉氏の支配下になると、越中攻めの拠点としての役割を持ち、この時期に 3つの曲輪を持つ宮崎城の形が整えられました。城跡は、第二次世界大戦中に陸軍部隊が一時駐屯し、その時に本丸の一部が削られ、堀を埋めるなど作り変えられました。

源平合戦に関わった後白河法皇の孫の北陸宮の墳墓や木曾義仲とともに出陣した宮崎の豪族宮崎太郎長康公の供養塔が建立されています。

宮崎城跡は、城山公園として整備されていて、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=70>

## ■ イベントのお知らせ

### 富山市科学博物館

えとの動物 ー たつー



令和6年のえと「辰-たつ」にちなみ、たつの解説やたつにちなんだ動植物、星座、貝類などを展示します。

期日 2023年12月16日(土) ~  
2024年1月21日(日)

場所 2階ロビー

その他 観覧料必要(高校生以下無料)

<https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

### 魚津埋没林博物館

埋没林樹根の清掃と“水のない埋没林”

年末恒例、冬の風物詩、水中展示館の埋没林の清掃を行います。清掃当日は、水中展示館は水のない状態で展示しています。1年の汚れを落としてスッキリとしたこの日しか見られない“水のない埋没林”をぜひご覧ください。

2023年12月27日(水)

11:00 ~ 12:00【予定】

水中展示館(入館料必要)



## ■ 協会会員企業の紹介

スマイル スーパーマーケット ♥

# 大阪屋ショップ

本社 / 〒939-8064 富山市赤田487番地1

Tel / 076-421-1500 Fax / 076-421-1503

企業HP <https://www.ohsakaya-shop.jp>

### < 編集後記 >

今年の秋は、夏の猛暑が続いてあんなに暑かったのに12月に入り、立山連峰はあっという間に真っ白な雪化粧をしました。12月3日には富山市内で今年最後のジオパーク散歩を行い、野外での活動は、来年の春まで休憩です。今年のとてくろよりも今号が最終号となりました。毎月ご愛読いただき、ありがとうございます。皆さまが良いお年を迎えられますように。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK

